ONKYO®

CD レシーバーシステム

# X-T1CRX

CR-T1X（CDレシーバー）
D-T1X（スピーカーシステム）
DS-A1X（リモートインタラクティブドック）

# 取扱説明書

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

# 目次

## はじめに



## 接続する



## 基本の操作



## ラジオを聞く

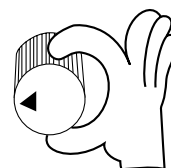


## 放送局を編集する

# 目次



**音のエチケット**

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# 主な特長/付属品

「X-T1CRX」はCR-T1X（CDレシーバー）、D-T1X（スピーカーシステム）とDS-A1X（リモートインタラクティブドック）で構成されています。

■ 音楽用CD-R、CD-RW再生にも対応※1

※1 PCMフォーマットで録音された音楽用CD-R/RWで、ファイナライズ済みのディスク。ただし、傷、汚れ、録音状態によっては、再生できないことがあります。

■ FMオートプリセット可能。FM、AM合わせて30局メモリー可能なチューナー搭載

■ 重低音の調整ができるS.BASS（スーパーバス）機能、低音や高音を調整できるTONE（トーン）機能

■ リモートインタラクティブドックでiPodの音楽を楽しみながら充電可能

＊本書では、以降「リモートインタラクティブドック」を「RIドック」と表現します。

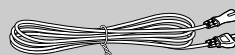
## 付属品

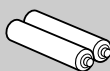
本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。（　）内の数字は数量をあらわしています。

### センターユニット部に同梱

●AM室内アンテナ（1）
AM放送を受信するアンテナです。

●FM室内アンテナ（1）
FM放送を受信するアンテナです。

●CDレシーバー用電源コード 1.5m（1）

●リモコン−RC-703S（1）

●単3乾電池（2）

●取扱説明書(本書)（1）
●保証書（1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）
●ユーザー登録カード（1）

### スピーカーシステム部に同梱

●スピーカーコード 1.1m（2）

●RIドック用ACアダプター（1）

●オーディオ用ピンコード（1）
アナログ音声を送るコードです。

●ビデオ用ピンコード（1）
映像を送るコードです。

●RIケーブル（1）
RI端子付きのオンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。）

ご注意 **付属の電源コードはCDレシーバー専用、ACアダプターはRIドック専用です。他の機器に使用しないでください。**
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

**カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。**

**接続できるiPod**
第5世代iPod（iPod with video）、iPod photo（カラーディスプレイ搭載iPod）、第4世代iPod
第2世代iPod nano、第1世代iPod nano、iPod mini

ご注意 第3世代iPodには対応していません。

- ご使用になる前に、必ずご使用のiPodを最新のバージョンにアップデートしてください。最新バージョンにするためのソフトウェアアップデーターは、Apple社のホームページにて入手してください。
- 取扱説明書に記載の操作は、2007年5月現在のiPodを基準にしています。今後のiPodのファームウェアのバージョンアップ等により、操作できる機能の範囲が変更になる場合もあります。
- 映像出力は、iPod photoと第5世代iPodのみ対応しています。

# 安全上のご注意
## 安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

**電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。**
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

### 「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
|  | 誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。 |

### 絵表示の見かた

| | |
|---|---|
| △記号は「ご注意ください」という 内容を表しています。 |  高温注意  感電注意 |
| ⊘記号は「～してはいけない」という 禁止の内容を表しています。 |  分解禁止  ぬれ手禁止 |
| ●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。 |  電源プラグをコンセントから抜く  必ずする |

## ⚠警告

### 故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグやACアダプターを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 製品を落としてしまった
- 製品内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

### 分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

### 接続、設置に関するご注意

■**通風孔をふさがない、放熱を妨げない**

禁止

CDレシーバーには内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- CDレシーバーを押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（CDレシーバーの天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■**水蒸気や水のかかる所に置かない、製品の上に液体の入った容器を置かない**

水場での使用禁止

水濡れ禁止

製品に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 製品の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

### 電源コード・電源プラグ・ACアダプターに関するご注意

■**電源コードやACアダプターを傷つけない**

禁止

- 電源コードやACアダプターの上に重い物をのせたり、コードが製品の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■**電源プラグやACアダプターは定期的に掃除する**

必ずする

電源プラグやACアダプターにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグやACアダプターを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

■**ACアダプターに布や布団をかぶせない**

禁止

熱がこもり火災の原因となります。

# ⚠警告

## 使用上のご注意

### ■CDレシーバー内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- CDレシーバーの通風孔、CD挿入部から異物を入れない
- CDレシーバーの上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

### ■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

### ■CD挿入部に手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

### ■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

### ■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

### ■雷が鳴りだしたら製品、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグ、ACアダプターに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

## 電池に関するご注意

### ■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れる

### ■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

# ⚠注意

## 接続、設置に関するご注意

### ■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

### ■製品の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、製品に乗ったりしないでください。

### ■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

### ■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

## 電源コード・電源プラグ・ACアダプターに関するご注意

### ■表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

本システムを使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

### ■電源コードやACアダプターのコードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

# ⚠注意

■電源プラグやACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■電源コードやACアダプターのプラグを壁の電源コンセントに接続したまま、CDレシーバーのAC INLETからコードを抜いたり、差したりしない

禁止

誤ってコードのAC INLET側をさわると、感電する場合があります。

■長期間使用しないときは電源プラグやACアダプターをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグやACアダプターは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグやACアダプターを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグとACアダプターを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグとACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。

## 使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

CDレシーバーの通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

## 移動時のご注意

■移動時は電源プラグ、ACアダプターや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■製品の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

製品の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットを持って移動させないでください。

■機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■製品のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。



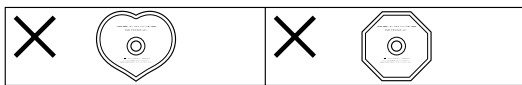
X-T1CRX(05-07)(SN29344548)　7　07.5.24, 0:34 PM
ブラック

# CDについて

### 再生上のご注意

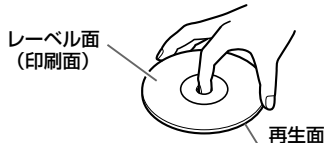
CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

※
※
※本機は音楽用CD（CD-DA）として録音されたCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

### 複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

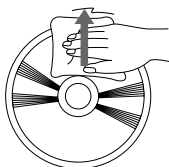
### 取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

### レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

### CDのお手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

# 製品の取り扱いについて

### お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

### テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

### 取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

### 結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

### メモリー保持について

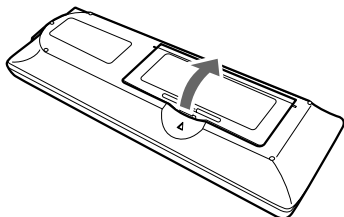
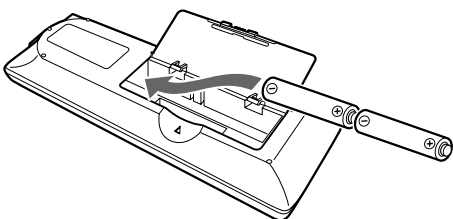
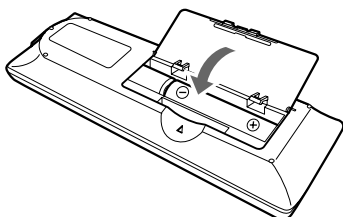
本機には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。本機の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約3日間です。
ただし、時刻は保護されずタイマーはOFF設定になりますので、再度設定してください。



X-T1CRX(08-15)(SN29344548) 8 07.5.24, 0:35 PM
ブラック

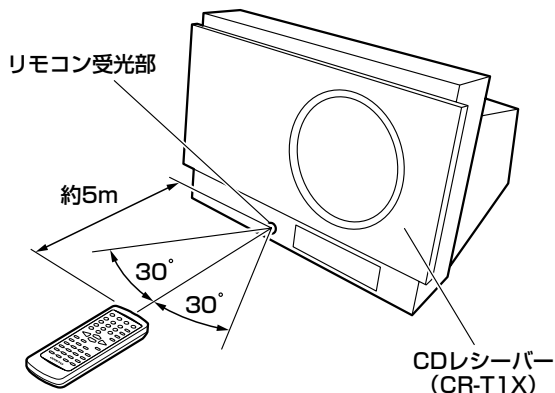
# リモコンを準備する

## 乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げる

2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

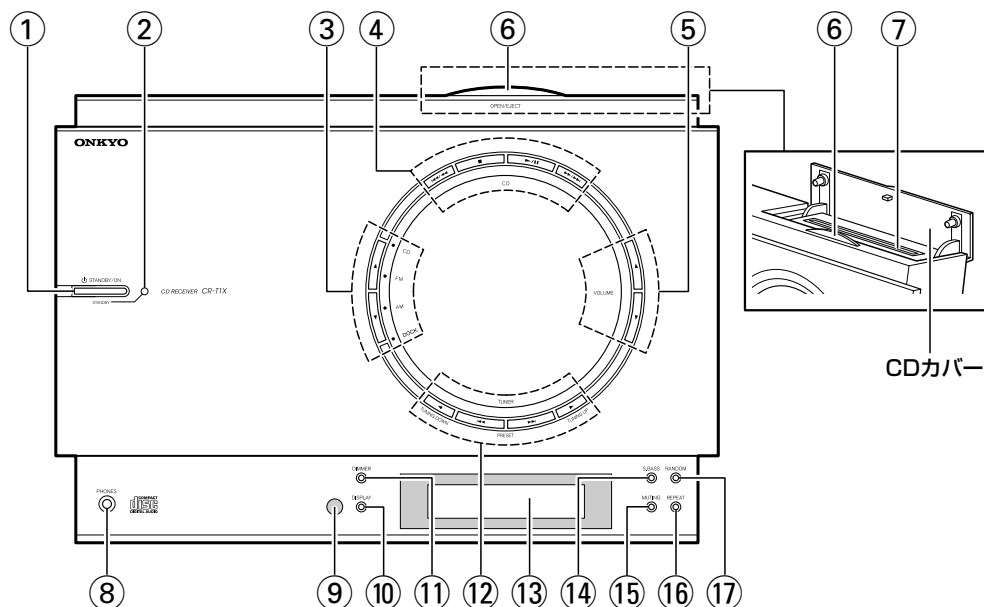
## リモコンの使いかた

リモコンはCDレシーバーのリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

# 各部の名前と主な働き

## 前面パネル

〔　〕のページに主な説明があります。

① **STANDBY/ONボタン〔22〕**
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

② **STANDBYインジケーター〔22〕**
スタンバイ状態のとき点灯します。

③ **入力選択部の▲/▼ボタンとインジケーター〔23、24、27〕**
聞くソースを選びます。選択した入力ソースのインジケーターが点灯します。

④ **CD部操作ボタン**

**⏮/◀◀ボタン〔32〕**
CDを聞いているときは、押すたびに1つ前の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生中の曲を早戻しします。

**■ボタン〔32〕**
CDを聞いているときは、再生を停止します。

**►/❚❚ボタン〔32、34〕**
CDの再生を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。一時停止中に押すと、再び再生を始めます。
他のソースを聞いているときに押すと、入力ソースがCDに切り換わり、CDの再生を始めます。

**▶▶/⏭ボタン〔32〕**
CDを聞いているときは、押すたびに次の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生中の曲を早送りします。

⑤ **VOLUME▲/▼ボタンとインジケーター〔23〕**
音量を調節します。電源を入れるとインジケーターが点灯します。

⑥ **OPEN/EJECTボタン〔32〕**
CDを取り出すときに押します。ボタンを押すとCDカバーが開き、CDが出てきます。CDカバーは手で閉めてください。

⑦ **CD挿入部〔32〕**
CDを挿入します。軽く押すと、本機内部に引き込まれます。

⑧ **PHONES端子〔23〕**
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑨ **リモコン受光部〔9〕**
リモコンからの信号を受信します。

⑩ **DISPLAYボタン〔27〕**
表示部の情報を切り換えます。

⑪ **DIMMERボタン〔23〕**
表示部の明るさを切り換えます。
表示部を暗くしたときは、VOLUME部、TUNER部、CD部のインジケーターも消灯します。

⑫ **TUNER部操作ボタン**

**◀TUNING DOWN/TUNING UP▶ボタン〔24〕**
周波数を合わせるときに押します。

**⏮◀PRESET▶⏭ボタン〔27〕**
登録した放送局を選びます。

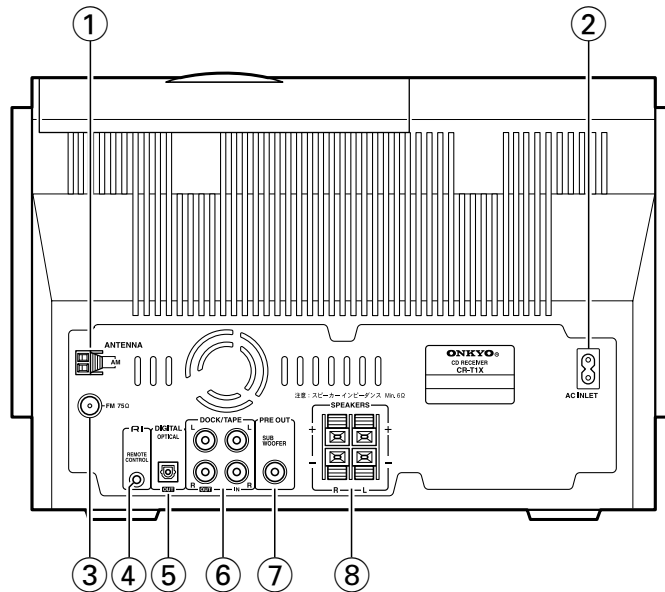
⑬ 表示部〔12〕
次ページをご覧ください。

⑭ S. BASSボタン〔38〕
重低音を強調します。

⑮ MUTINGボタン〔23〕
音を一時的に消します。

⑯ REPEATボタン〔35〕
CDをくり返し再生します。

⑰ RANDOMボタン〔34〕
CDをランダムに再生します。

## 背面パネル

① ANTENNA AM端子
付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

② AC INLET
付属の電源コードを接続します。

③ ANTENNA FM75Ω端子
付属のFM室内アンテナまたは、FM屋外アンテナを接続する端子です。

④ RI REMOTE CONTROL端子
RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。 付属のRIドックのRI端子と接続してください。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

⑤ DIGITAL OPTICAL OUT端子
光デジタル音声の出力端子です。
入力がCDのときのみ出力されます。
デジタル入力端子付きのMDレコーダーやCDレコーダーなどと接続します。PCM信号に対応しています。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

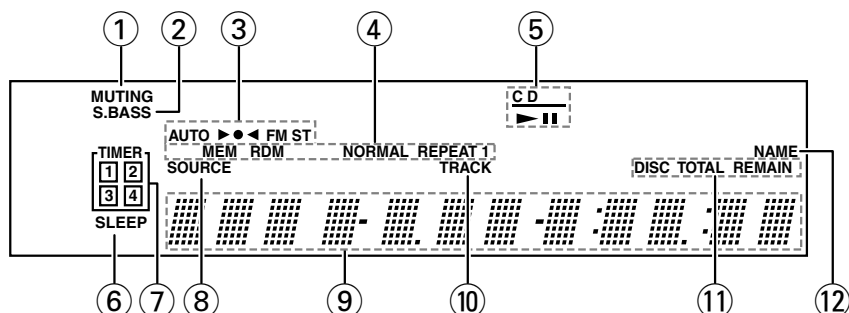
⑥ DOCK/TAPE OUT/IN端子
オーディオ用ピンコードを使って、付属のRIドックやテープデッキなどの録音機器を接続する端子です。

⑦ PRE OUT端子
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

⑧ SPEAKERS端子
スピーカーを接続する端子です。
同梱のスピーカー（D-T1X）を接続します。

**接続については、16〜21ページをご覧ください。**

# 各部の名前と主な働き

## 表示部

① MUTING（ミューティング）表示
ミューティングが働いているときに点滅します。

② S. BASS（スーパーバス）表示
スーパーバス設定時に点灯します。

③ FM/AM受信情報
FM/AM受信時の情報を知らせます。(☞24、27ページ)

④ 再生モード表示

MEM（メモリー）：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RDM（ランダム）：ランダム再生時に点灯します。
NORMAL（ノーマル）：通常再生時に点灯します。
REPEAT（リピート）：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1：1曲リピート再生時に点灯します。

⑤ CD 再生表示
CDの再生状態を表示します。

⑥ SLEEP（スリープ）表示
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

⑦ TIMER（タイマー）表示
タイマーのセット状態を表示します。
1 ～4：タイマー1～4設定時に点灯します。
□：タイマー録音設定時に点灯します。

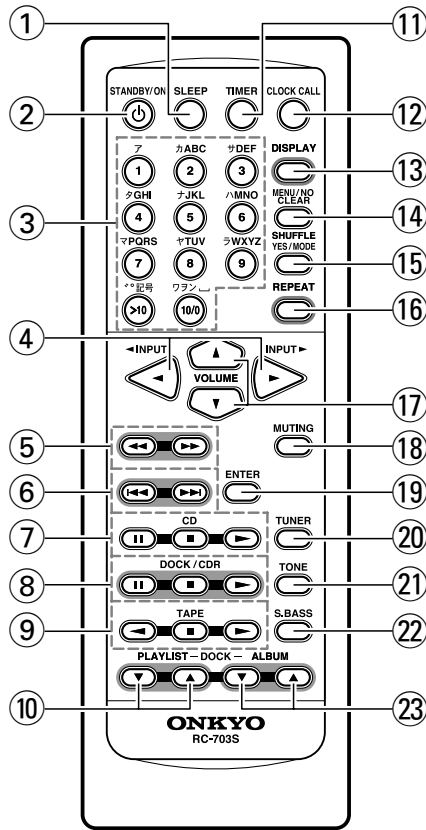
⑧ SOURCE（ソース）表示
再生されているソースが表示されているときに点灯します。

⑨ 多目的表示部
再生時間や名前などを表示します。

⑩ TRACK（トラック）表示
トラック番号が表示されているときに点灯します。

⑪ CD情報
多目的表示部に表示されている項目が点灯します。

⑫ NAME（ネーム）表示
登録した放送局の名前が表示されているときに点灯します。

### *リモコン（RC-703S）*〔 〕のページに主な説明があります。

① SLEEPボタン〔41〕
スリープタイマーの設定に使用します。

② STANDBY/ONボタン〔22、44〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

③ **文字、記号、アルファベット、数字ボタン〔30、33、40〕**
ディスク名や曲名など文字入力時に使用します。また、選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときにも使用します。

④ INPUT◀/▶ボタン〔23、27、39〕
押すごとに入力が切り換わります。

⑤ ◀◀/▶▶ボタン〔24、31、33〕
再生中の曲を早戻し、早送りします。また、周波数の選択や、放送局に名前をつけるときの文字の修正にも使用します。

⑥ I◀◀/▶▶Iボタン
〔26～31、33、34、38、41～44〕
CDのときは前後の曲を選びます。ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。

⑦ CD操作ボタン〔33〕
II ：再生を一時停止します。
■ ：再生を停止します。
▶ ：再生を始めます。

⑧ RIドックまたは別売りのオンキヨー製CD-R操作ボタン
II ：再生を一時停止します。
■ ：再生、録音や早送り、早戻しを停止します。
▶ ：再生を始めます。

⑨ **別売りのオンキヨー製テープデッキ操作ボタン**
◀ ：テープデッキのB（裏）面を再生します。
■ ：再生、録音や早送り、巻戻しを停止します。
▶ ：A（表）面を再生します。

⑩ PLAYLIST▲/▼ボタン〔37〕
RIドックに接続したiPodのプレイリストをアップダウンします。

⑪ TIMERボタン〔40、42、45〕
現在時刻やタイマーの設定を行います。

⑫ CLOCK CALLボタン〔40〕
時刻を表示させるときに押します。

⑬ DISPLAYボタン〔27、33、39〕
押すたびに表示部の情報が切り換わります。

⑭ MENU/NO/CLEARボタン〔25、26、28～31〕
設定や編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消します。

⑮ SHUFFLE/YES/MODEボタン
〔26、27、30、34、35〕
再生、設定などで、選択した項目を決定します。メモリー再生やランダム再生を設定します。

⑯ REPEATボタン〔35〕
CDをくり返し再生します。

⑰ VOLUME▲/▼ボタン〔23〕
音量を調節します。

⑱ MUTINGボタン〔23〕
音を一時的に消します。

⑲ ENTERボタン
〔25、26、28～31、34、38、40～44〕
編集や各設定で項目の確定をします。

⑳ TUNERボタン〔24、25、27〕
入力をチューナーに切り換えます。押すたびに、FMとAMを切り換えます。

㉑ TONEボタン〔38〕
低音、高音を調整します。

㉒ S. BASSボタン〔38〕
重低音を強調します。

㉓ ALBUM▲/▼ボタン〔37〕
RIドックに接続したiPodのアルバムリストをアップダウンします。

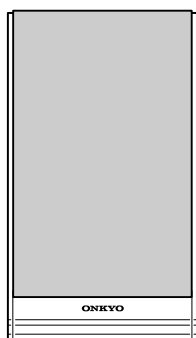
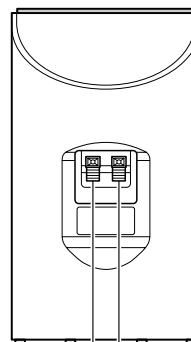
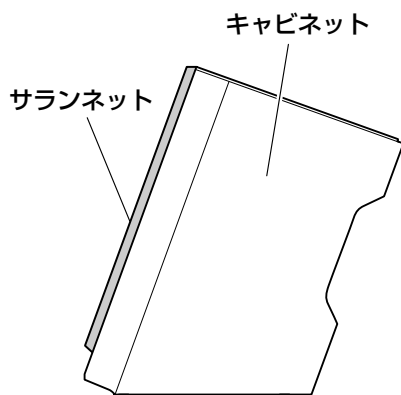
**※オンキヨー製のRIドックやテープデッキ、CDレコーダーを接続しているときに使用できるボタンについての詳細は、37、39ページをご覧ください。**

# 各部の名前と主な働き

## スピーカー（D-T1X）

D-T1Xは左側スピーカーと右側スピーカーの形は同じです。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

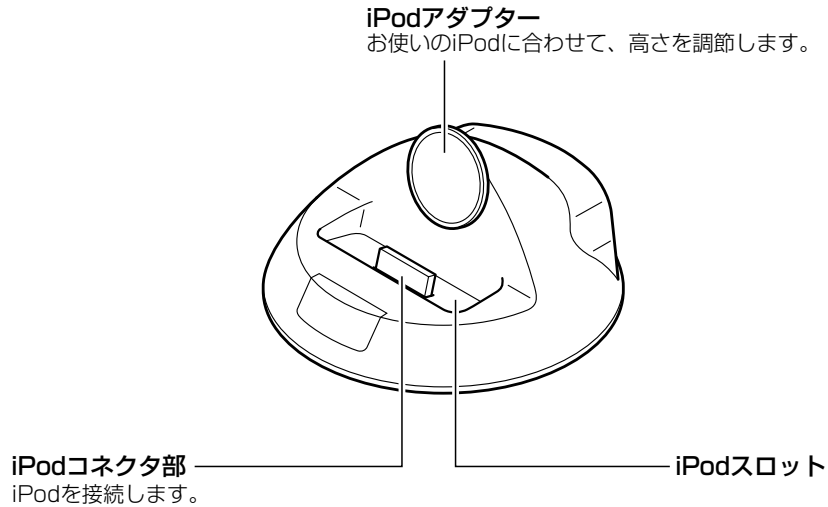
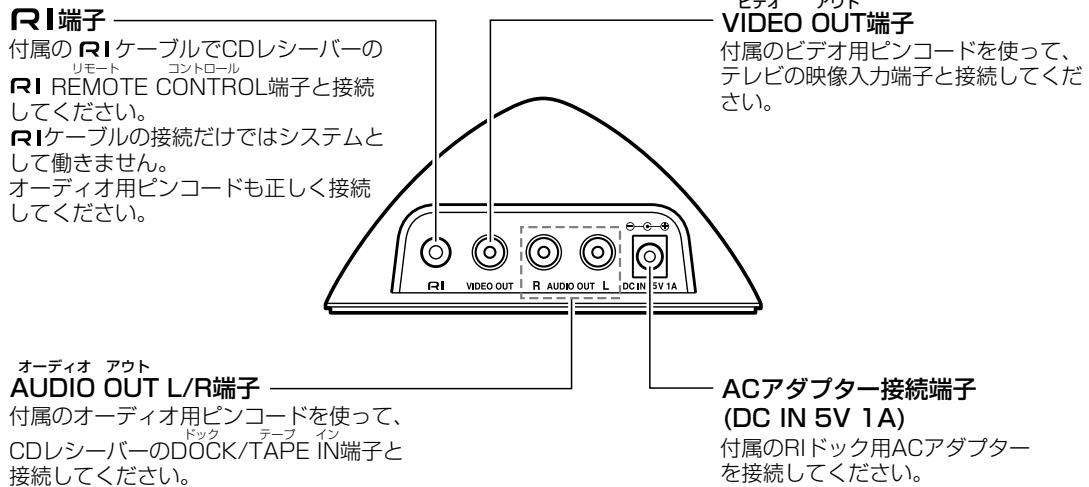
■前面

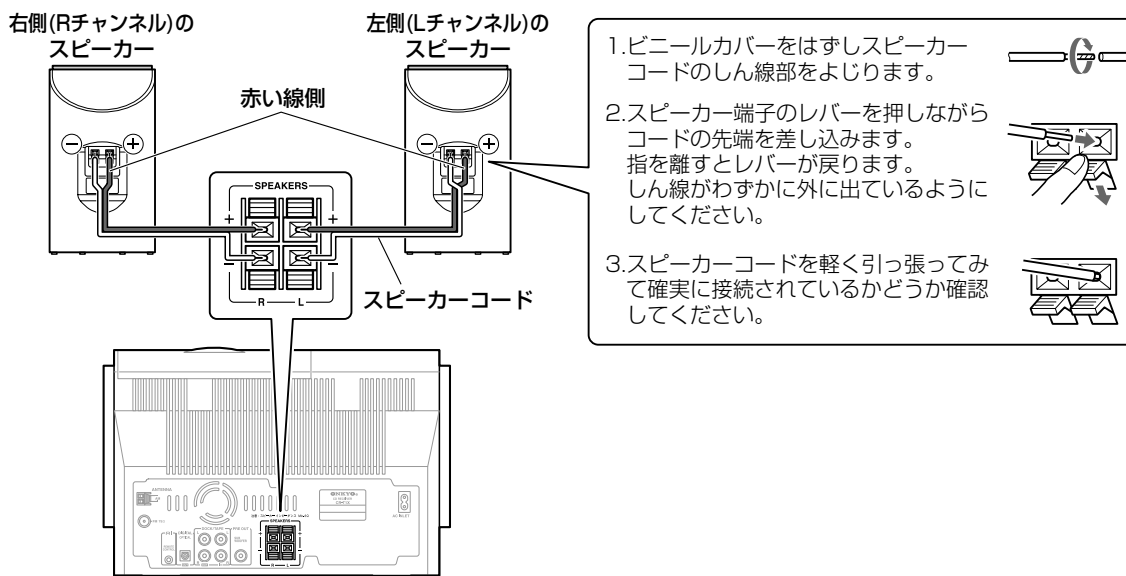
■背面

■側面

ご注意

このスピーカーシステムは、前面のサランネットを取りはずすことができない構造になっています。無理にはずそうとすると、故障の原因となりますのでおやめください。

## リモートインタラクティブドック（RIドック DS-A1X）

Made for iPod

### ■上面

### ■背面

# 接続する

## スピーカーを接続する

- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしやしん線を背面パネルに絶対に接触させないでください。

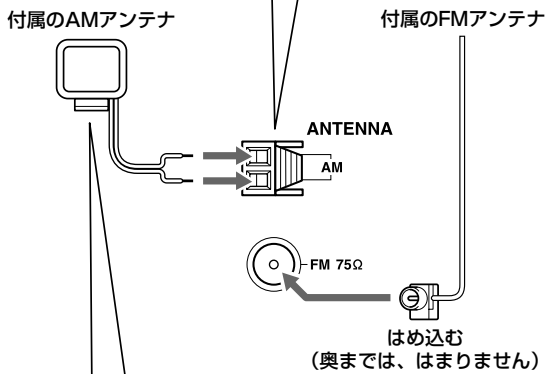
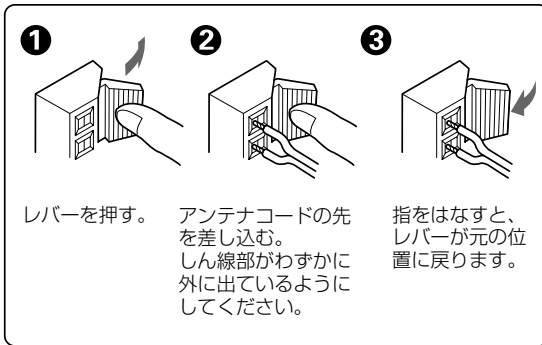
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーはインピーダンスが6Ω(オーム)〜16Ωのものを接続してください。6Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
  同梱のスピーカー(D-T1X)は、本機(CR-T1X)に合うように設計されています。本機(CR-T1X)と他のスピーカーを組み合わせてご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますので、ご了承ください。
- スピーカーの(+)と本体のスピーカー端子の(+)を、スピーカーの(−)と本体のスピーカー端子の(−)を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線の方を(+)側に接続してください。

- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続（例1）したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列して接続（例2）しないでください。故障の原因になります。

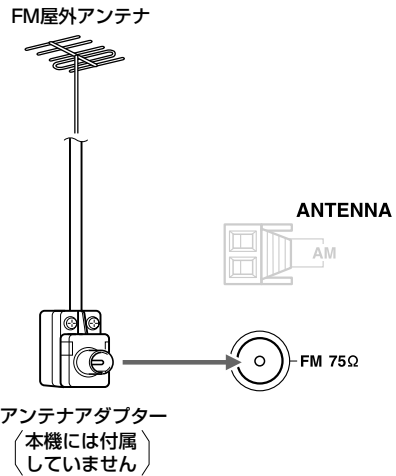
例1：　　例2：

# ラジオのアンテナを接続する

## 付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞25ページ）

**！ヒント**

AMアンテナのコードは、分岐した先端を上下端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、+/−の区別はありません。）

## FM屋外アンテナを接続する

### FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

**！ヒント**

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

**ご注意**

送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

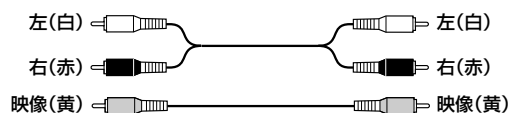
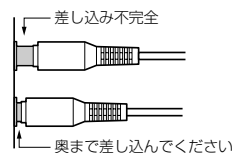
# 接続する

## 外部機器を接続する

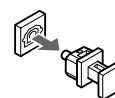
**接続の前に**

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

**オーディオ用、ビデオ用ピンコードは以下のように接続してください。**

- 赤いプラグを右チャンネル（Rの表示）、白いプラグを左チャンネル（Lの表示）、黄色のプラグをビデオ（Vの表示）に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコード、ビデオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

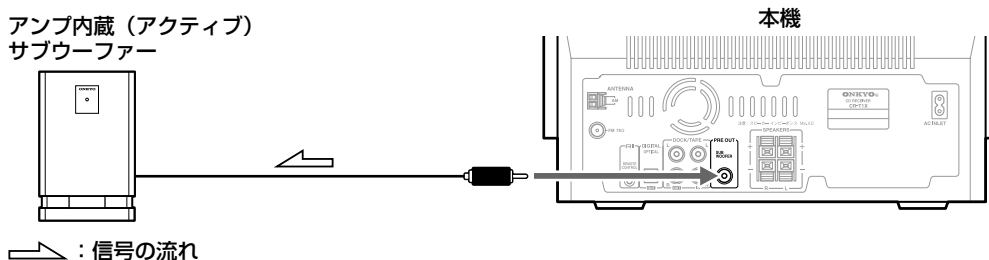
**光デジタル端子について**

本機の光デジタル端子には、保護キャップが取り付けられています。接続のときは、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを元どおりに取り付けてください。

## 音声/映像ケーブルと端子の種類について

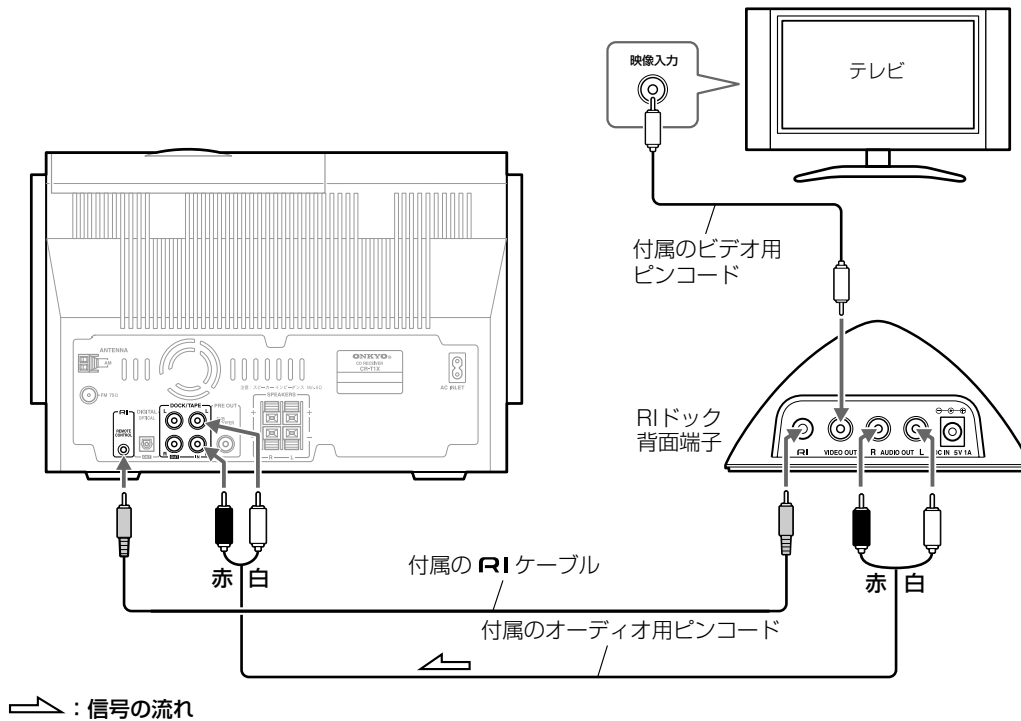
| 音声ケーブルと端子の種類 | | | |
|---|---|---|---|
| ケーブルの名称 | ケーブルの形 | 端子の形 | ケーブルや端子の役割 |
| 光デジタルケーブル（OPTICAL） | | OPTICAL | デジタル信号を伝送します。 |
| オーディオ用ピンコード | | L R | アナログ音声を伝送します。 |

| 映像ケーブルと端子の種類 | | | |
|---|---|---|---|
| ケーブルの名称 | ケーブルの形 | 端子の形 | ケーブルや端子の役割 |
| ビデオコード（コンポジット） | | VIDEO | 標準的な映像信号で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。 |

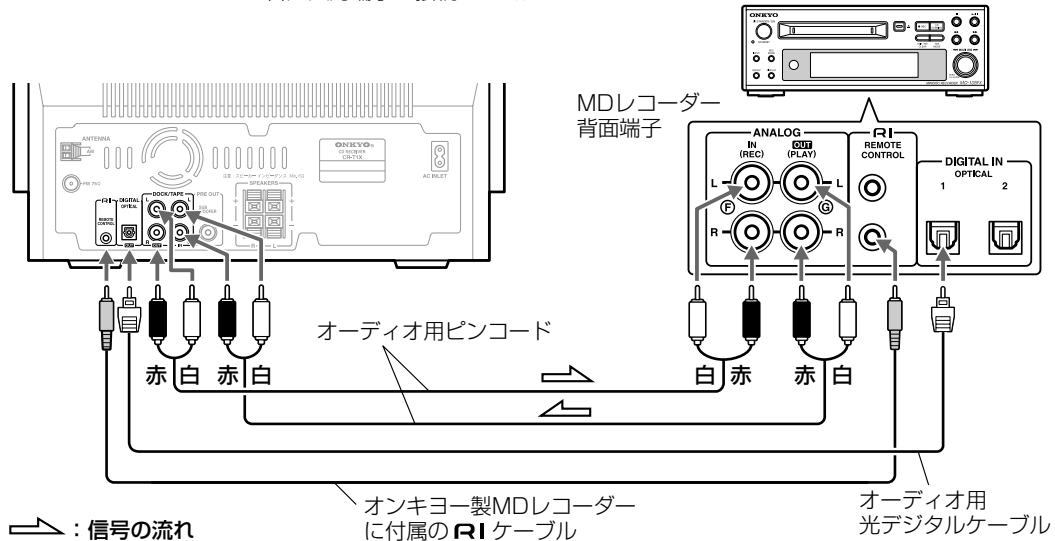
## サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

## 付属のリモートインタラクティブドック（RIドック）を接続する

付属のRIドックDS-A1Xを接続します。
付属のオーディオ用ピンコードを使って、本機のDOCK/TAPE IN端子とRIドックのAUDIO OUT端子を接続してください。
付属のビデオ用ピンコードを使って、RIドックのVIDEO OUT端子をテレビの映像入力端子に接続してください。
付属のRIケーブルを使って、本機のRI端子とRIドックのRI端子を接続してください。

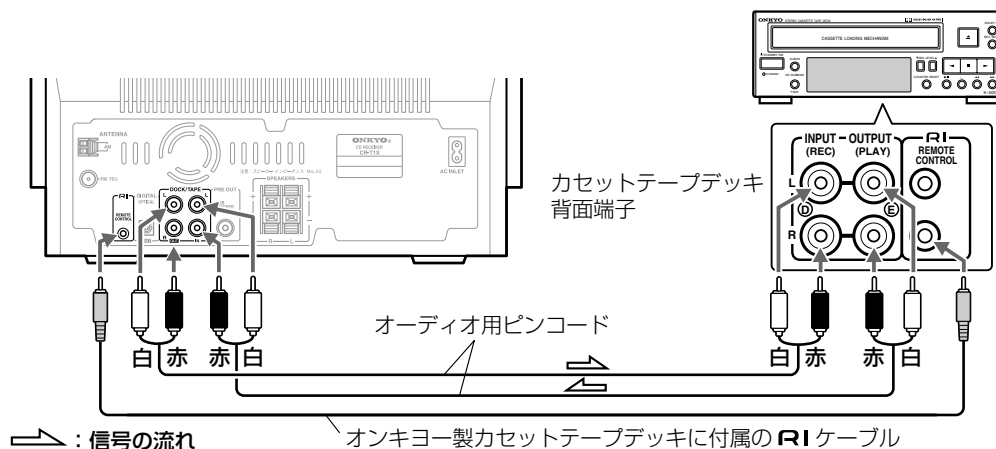
：信号の流れ

**RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）**
● 付属のリモコンでRIドックも操作できます。
● オンキヨー製RIドックの再生をすると、本機の入力が自動的にDOCKに切り換わります。
＊外部入力の表示名称を「DOCK」にする必要があります。（☞39ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」ですので、そのままお使いください。）

## MDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製MDレコーダーとの接続例です。）

本機のDOCK/TAPE OUT端子とMDレコーダーの音声入力端子を接続してください。
本機のDOCK/TAPE IN端子とMDレコーダーの音声出力端子を接続してください。
MDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL OPTICAL OUT端子とMDレコーダーのデジタル音声入力端子を接続してください。

**オンキヨー製MDレコーダーとRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）**
- 付属のリモコンでオンキヨー製MDレコーダーも操作できます。
- オンキヨー製MDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にMDに切り換わります。

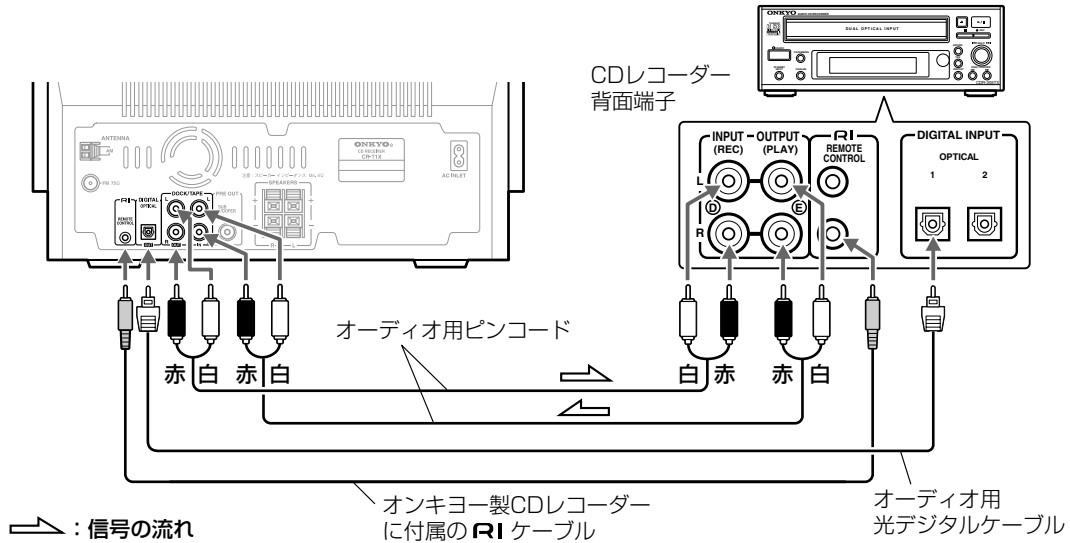
＊外部入力の表示名称を「MD」にする必要があります。（☞39ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）

## カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

本機のDOCK/TAPE OUT端子とカセットテープデッキの音声入力端子INPUT（REC）を接続してください。
本機のDOCK/TAPE IN端子とカセットテープデッキの音声出力端子OUTPUT（PLAY）を接続してください。

**オンキヨー製カセットテープデッキとRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）**
- 付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

＊外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（☞39ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）

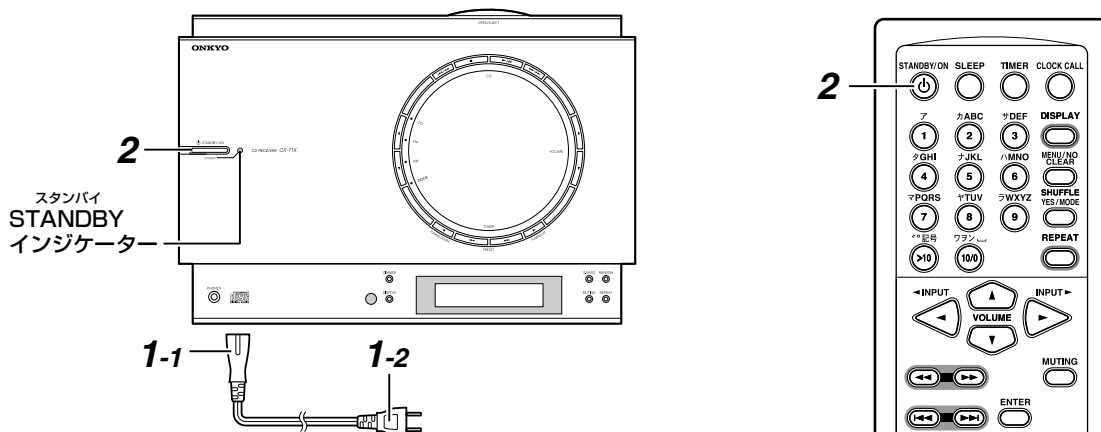
## CDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製CDレコーダーとの接続例です。）

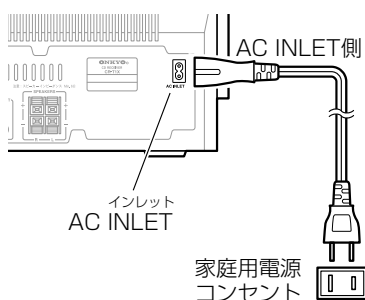
本機のDOCK/TAPE OUT端子とCDレコーダーの音声入力端子を接続してください。
本機のDOCK/TAPE IN端子とCDレコーダーの音声出力端子を接続してください。
CDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL OPTICAL OUT端子とCDレコーダーのデジタル音声入力端子を接続してください。

**オンキヨー製CDレコーダーとRI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）**
- 付属のリモコンでオンキヨー製CDレコーダーも操作できます。
- オンキヨー製CDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。

＊外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。（☞39ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）

# 電源を入れる

**電源を入れる前に**

- 16～21ページの接続がすべて終了しているか確認してください。

## 1

### 付属の電源コードを本体背面のAC INLETにつなぎ（1-1）、プラグを家庭用電源コンセントに接続する（1-2）

STANDBYインジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

ご注意

- **付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。**
  **また、付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。**
  **故障や事故の原因となります。**
- 電源コードのプラグを壁の電源コンセントに接続したまま、本機のAC INLETから電源コードを抜いたり、つないだりしないでください。
  誤ってコードのAC INLET側をさわると、感電する場合があります。

## 2

### 本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

本体

または

リモコン

STANDBY/ON

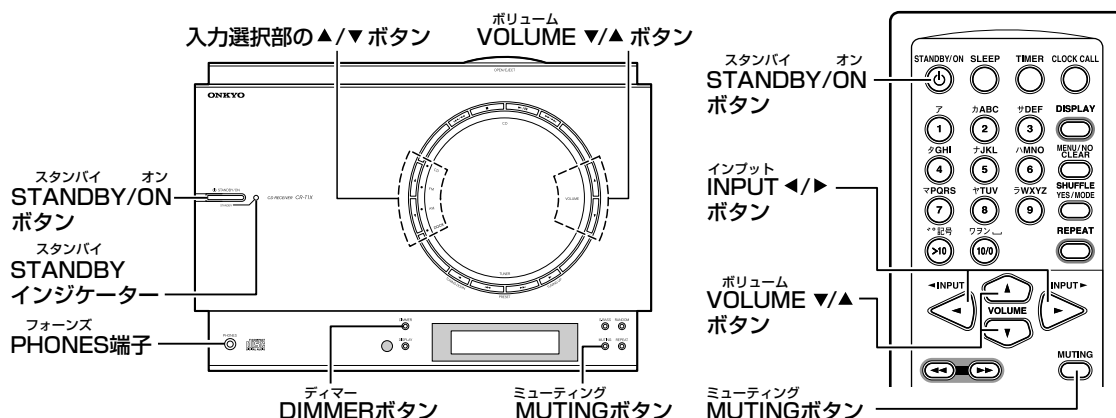
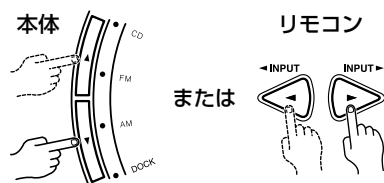
電源を切るときは、同じボタンをもう一度押します。

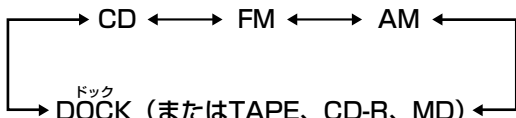
！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続しているオンキヨー製品の電源を入れたり、再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のスタンバイとオンを切り換えると、接続している機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

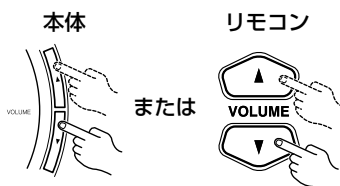
**電源コードをコンセントから抜く場合は**

必ずSTANDBY/ONボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。電源スイッチ付きのテーブルタップに電源コードを接続しているときも、電源を切る前に本機をスタンバイ状態にしてください。

# 基本の操作を理解する

## 入力を切り換える

### 本体の入力選択部の▲/▼ボタンまたはリモコンの INPUT◀/▶ ボタンを押して切り換える

CD、FM放送、AM放送、接続した外部機器から選べます。選択した入力のインジケーターが点灯します。
ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

**！ヒント**

DOCK/TAPE端子に接続している機器がカセットテープデッキやCDレコーダー、MDレコーダーの場合は、表示部に表示される名前を変更することができます。（☞39ページ）また、オンキヨー製のカセットテープデッキやCDレコーダーをRI接続しているときは、名前を変更するとシステム動作が可能になり、本機に付属のリモコンで操作することができるようになります。

## 音量を調節する

### 本体またはリモコンのVOLUME▲/▼ボタンを押す

## 音を一時的に消す

### 本体またはリモコンの MUTING ボタンを押す

MUTING表示が点滅し、音を一時的に消します。

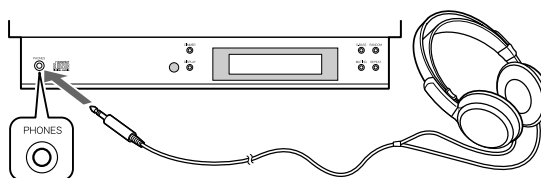
**解除するには…**
もう一度MUTINGボタンを押します。
- 音量を変えたり、STANDBY/ONボタンを押した場合にも解除されます。

## 表示部およびインジケーターを暗くする

### 本体の DIMMER ボタンを押す

ボタンを押すと表示部は暗くなり、VOLUME部、TUNER部、CD部のインジケーターは消灯します。もう一度押すと元に戻ります。

## ヘッドホンで聞くときは

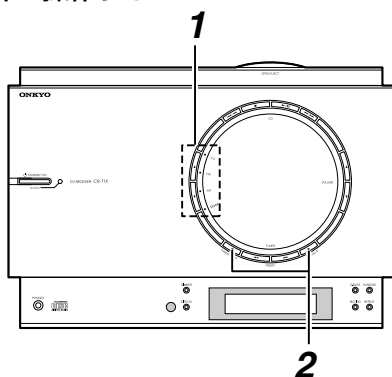
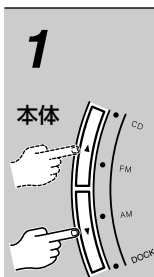
ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

# FM/AM放送を聞く

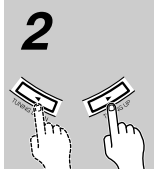
## 手動で周波数を合わせて聞く

■本体で操作する

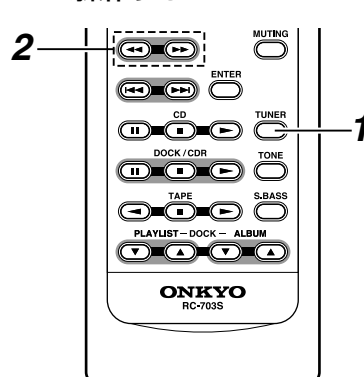
**操作の前に**
電源を入れてください。

**1**

### 入力をFMまたはAMにする

入力選択部の▲/▼ボタンを押して、FMまたはAMを選びます。
- FMまたはAMを選ぶと、チューナー操作部の緑色のインジケーターが点灯します。

**2**

### TUNER部のTUNING UP▶ボタンまたはTUNING DOWN◀ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる

一回押すごとに周波数がFMでは0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。◀または▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動的に停止します。

■リモコンで操作する

**操作の前に**
電源を入れてください。

**1**

### リモコンのTUNERボタンを押す

バンドを切り換えるには、もう一度押します。FMの場合はAMに、AMの場合はFMになります。
- FMまたはAMを選ぶと、チューナー操作部の緑色のインジケーターが点灯します。

**2**

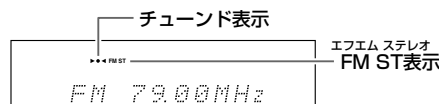
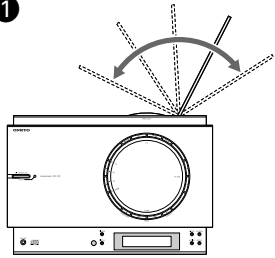
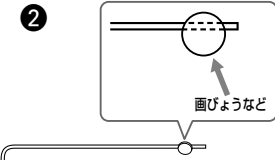
### リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる

一回押すごとに周波数がFMでは0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。◀◀または▶▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動的に停止します。

チューニングしている間は、▶　◀が点滅します。放送局を受信するとチューンド表示（▶●◀）が点灯します。
FMステレオ局を受信すると、FM ST表示が点灯します。

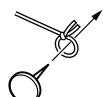
チューンド表示
FM ST表示
FM 79.00MHz

**TV音声について**
テレビのVHF1〜3チャンネルの音声を聞くことができます。
　1CH；95.75MHz　2CH；101.75MHz　3CH；107.75MHz
- TUNING UP▶ボタンまたはTUNING DOWN◀ボタンを押し続けて自動的に周波数が上がり（下がり）するときは、FMは0.1MHzずつ変わるためテレビの1〜3チャンネルには自動的に止まりません。テレビの1〜3チャンネルの周波数は、手動で合わせてください。
- 本機のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、FM放送が混信することがあります。
- 音声多重放送は受信できません。また、テレビ音声はモノラルで受信されます。

**お知らせ**
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
本機で受信できるVHF1〜3CHについても同様となります。

## アンテナの調整をする

### FM室内アンテナを調整して固定する

FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

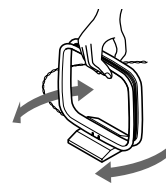
❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

ご注意 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

はずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

### AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。

- マンションなど、鉄筋構造の家屋の場合、窓際などできるだけ電波が届きやすいところに設置してください。

## 放送局を登録して聞く

## FMを自動で登録する−オートプリセット−

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、自動(オート)で行えます。AM局は自動で登録できませんので、次ページをご覧ください。

**予備知識**

- FMの受信周波数は76.00〜108.00MHzですが、オートプリセットは76.00〜90.00MHzの範囲で行います。
- 既に放送局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

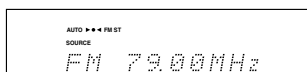
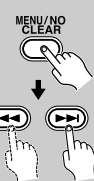
**操作の前に**

電源を入れてください。

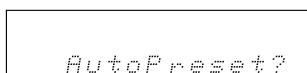
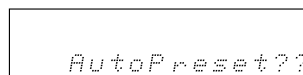
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。

ご注意 お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞29ページ）

### 1 TUNER(チューナー)ボタンを(くり返し)押して、「FM」を表示させる

AUTO ►●◄ FM ST
SOURCE
FM 79.00MHz

### 2 MENU(メニュー)/NO(ノー)/CLEAR(クリア)ボタンを押し、◀◀/▶▶ボタンを押して「AutoPreset?(オートプリセット?)」を表示させる

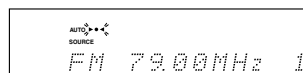
AutoPreset?

### 3 ENTER(エンター)ボタンを押す

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??(オートプリセット??)」が表示されます。

中断するときはMENU(メニュー)/NO(ノー)/CLEAR(クリア)ボタンを押してください。

### 4 ENTERボタンを押す

AUTO ►●◄
SOURCE
FM 79.00MHz 1

オートプリセットが始まります。

周波数の低い順から自動的に放送局を検索し、最大20局まで登録していきます。

**！ヒント 登録したあとにこんなこともできます。**

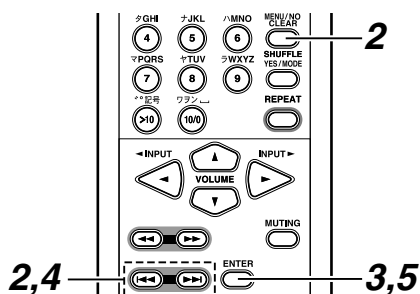
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞30ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞29ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞28ページ

# FM/AM放送を聞く

## *1局ずつ登録する－プリセットライト－*

AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。（FMは、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。）

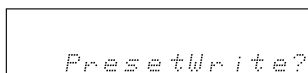
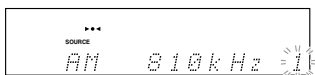
**予備知識**

- FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

**1** 24ページの方法で放送局を受信する

**2** MENU/NO/CLEAR（メニュー/ノー/クリア）ボタンを押し、◀◀/▶▶ボタンを押して「Preset Write?（プリセット ライト?）」を表示させる

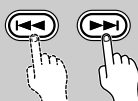
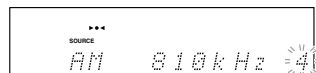
PresetWrite?

**3** ENTER（エンター）ボタンを押す

AM 810kHz 1

登録するチャンネルが表示されます。

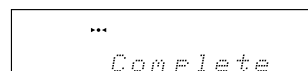
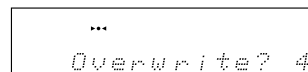
中断するときはMENU/NO/CLEAR（メニュー/ノー/クリア）ボタンを押します。

**4** 別のチャンネルに登録するときは、◀◀/▶▶ボタンを押す

AM 810kHz 4

**5** ENTERボタンを押して決定する

放送局が登録され、「Complete（コンプリート）」(完了)と表示された後、通常表示に戻ります。

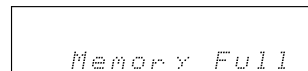
Complete

- 「Overwrite?（オーバーライト?）」(書き換えますか?)と表示されたときは

Overwrite? 4

選んだチャンネル番号は登録済みです。

○すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODE（イエス/モード）ボタンを押します。

○登録をやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

- 「Memory Full（メモリー フル）」と表示されたときは

Memory Full

FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞29ページ）、再度登録してください。

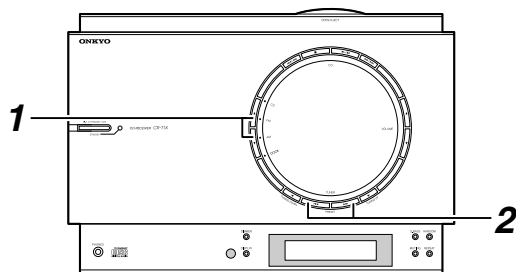
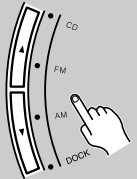
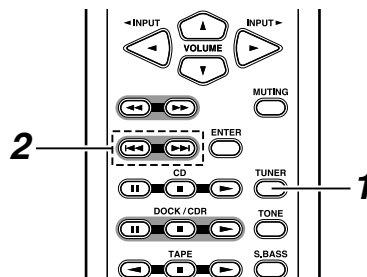
**6** 次を登録するときは、手順*1*～*5*をくり返す

**！ヒント** 登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞30ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞29ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞28ページ

## 登録した放送局を聞く　あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞25、26ページ）

（☞25、26ページ）

### ■本体で操作する

### ■ リモコンで操作する

**操作の前に**
電源を入れてください。

**1** 入力をFMまたはAMにする

入力選択部の▲/▼ボタンを押して「FM」または「AM」を選びます。

**2** TUNER（チューナー）部の⏮、⏭ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

**1** TUNERボタンを押す

バンドを切り換えるには、もう一度押します。FMの場合はAMに、AMの場合はFMになります。

**2** ⏮/⏭ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

⏮ボタンを押すと前のチャンネルを、⏭ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

！ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

| 例） 登録番号 | 押すボタン |
|---|---|
| 8 | 8 |
| 10 | 10/0 |
| 22 | >10 2 2 |

## 表示部の情報を切り換える

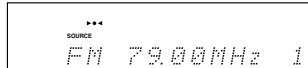
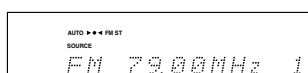
本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

**FM/AM周波数 ⟷ 放送局につけた名前**

- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name（ノー ネーム）」が表示され、周波数表示に戻ります。
  ☞「登録した放送局に名前をつける」（☞30ページ）

## FM放送を受信しにくいときは

AUTO ▶■◀ FM ST
SOURCE
FM 79.00MHz 1

▶■◀
SOURCE
FM 79.00MHz 1

電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンのYES（イエス）/MODE（モード）ボタンを押し、AUTO（オート）（オートステレオ）の表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTO（オート）に戻すときは、同じボタンを再度押します。
通常は、AUTOにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。

# FM/AMの登録した放送局を編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

## 編集のヒント

**チャンネル番号を変更するには**

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

## 登録した放送局をコピーする（リモコンのみ）

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞30ページ）も同時にコピーされます。

**1**

**FMまたはAMの、コピーするチャンネルを呼び出す**

例）4CH、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4

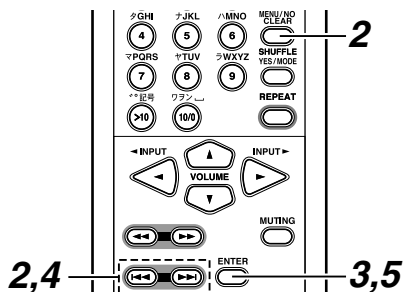
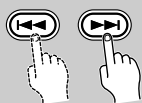
**2**

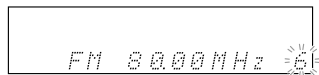
**MENU/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「Preset Copy?」を表示させる**

PresetCopy?

**3**

**ENTERボタンを押す**

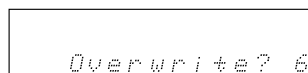
FM 80.00MHz 4

**4**

**⏮/⏭ボタンを押して、コピー先のチャンネルを選ぶ**

FM 80.00MHz 6

**5**

**ENTERボタンを押す**

放送局が指定のチャンネルにコピーされ、「Complete」（完了）が表示されます。

**「Overwrite?」（書き換えますか?）と表示されたときは**

Overwrite? 6

選んだチャンネルは登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、ENTERボタンを押します。
- 書き換えをやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

## 登録した放送局を削除する（リモコンのみ）

**1**

FMまたはAMの、削除するチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4

**2**

MENU（メニュー）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して、「Preset（プリセット） Erase?（イレーズ?）」を表示させる

PresetErase?

**3**

ENTER（エンター）ボタンを押す

再確認のメッセージが表示されます。

Erase OK? 4

削除をやめるときは、MENU（メニュー）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押します。

**4**

ENTERボタンを押す

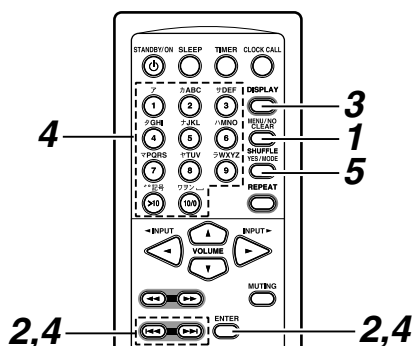
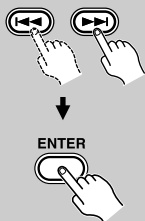
登録した放送局が削除され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

# 登録した放送局に名前をつける

FMやAMの登録した放送局にアルファベットやカタカナで名前をつけることができます。リモコンで操作します。

## *登録した放送局に名前をつける*

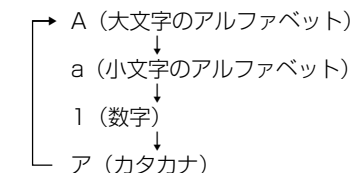
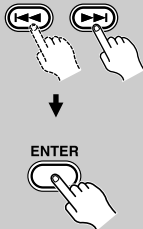
**最初に名前をつけたい放送局を登録しておいてください。**
**(☞25、26ページ)**

**入力できる文字**
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # $ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ' " , . ␣ (空白) ‰ (挿入)
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

**1** MENU/NO/CLEARボタンを押す

**2** ◀◀/▶▶ボタンで「Name In?」を選び、ENTERボタンを押す

- 表示部に、NAME表示が点灯します。

**3** DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。

A（大文字のアルファベット）
↓
a（小文字のアルファベット）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）

**4** 文字・数字ボタンや◀◀/▶▶ボタンで入力する文字を選ぶ

または

ENTER

**アルファベットを入力するには**
数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。
たとえば、②ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

**数字を入力するには**
数字ボタンを押すと数字が表示されます。

**カタカナを入力するには**
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。
たとえば、①ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

**記号を入力するには**
>10ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（>10ボタンは、␣./＊-.!?&'()10/0ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

リモコンの◀◀または▶▶ボタンを押して文字を選び、リモコンのENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

- リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
- 文字を挿入するときの「‰」や、その他記号の入力は、リモコンの◀◀または▶▶ボタンを押して選んでください。
- 濁点(゛)や半濁点(゜)は1文字としてカウントされます。また、「ア゛」のように通常濁点や半濁点を伴わない文字を入力すると、確定したときに「ア」と修正されます。
- 入力できる文字数は8文字です。8文字を超えて入力しようとすると、「Full」と表示されます。

**5** YES/MODEボタンを押して入力を終了する

## 文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、前ページの手順***1***、***2*** を行い、文字入力モードにしてください。

**❶ リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる**

**❷ ● 訂正するときは、前ページの「登録した放送局に名前をつける」の手順 *3* 、*4* にしたがって正しい文字を入力する**

**● 消去するときは、MENU/NO/CLEARボタンを押す**

ご注意

ずに元の表示に戻ります。
続けて文字を訂正/消去する場合は上記❶❷を、終わるときはYES/MODEボタンを押します。

## 文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、前ページの手順***1***、***2*** を行い、文字入力モードにしてください。

**❶ リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる**

**❷ ⏮/⏭ボタンを押して、「M」を表示し、ENTERボタンを押す**

**❸ 前ページの「登録した放送局に名前をつける」の手順 *3*、*4* にしたがって挿入する文字を入力する**

続けて文字を挿入する場合は上記❶❷を、終わるときはYES/MODEボタンを押してください。

## 放送局につけた名前を消去する

**❶ 入力をFMまたはAMにする**

**❷ ⏮/⏭ボタンを押して、名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ**

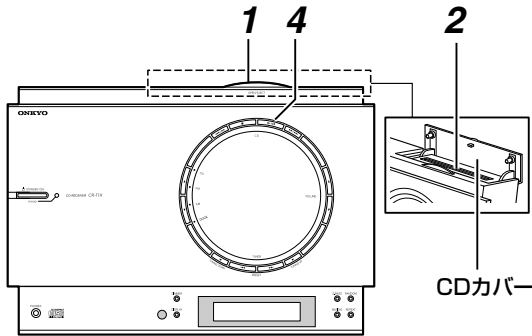
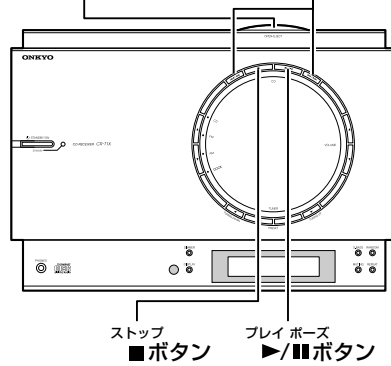
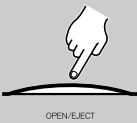
**❸ MENU/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「Name Erase?」を表示させる**

**❹ ENTERボタンを押す**

「Complete」と表示され名前が消去されます。

# CDを聞く

## 基本の操作

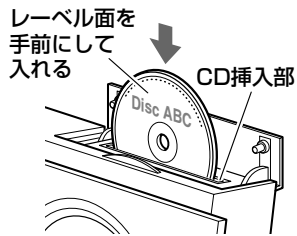
1

OPEN/EJECT

### OPEN/EJECTボタンを押す

CDカバーが開きます。

2

### CD挿入部にCDを入れる

レーベル面（印刷面）を手前にして入れてください。

8cmCDもそのまま入れてください。アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

3

### CDを軽く押す

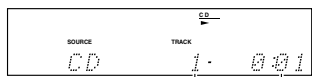
CDが本体に引き込まれます。

- CDカバーは手で閉めてください。
- CDをセットすると、緑色のインジケーターが点灯します。

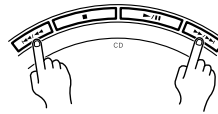
4

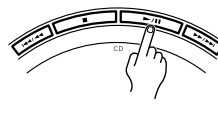
### CDの►/‖ボタンを押す

再生が始まります。

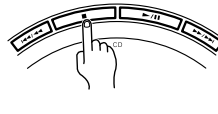
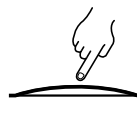
## 本体で操作する

### 聞きたい曲を選ぶ

再生中に⏮/◀◀ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は⏮/◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻ります。▶▶/⏭ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

### 早戻し/早送りをする

再生中または一時停止中に⏮/◀◀ボタンまたは▶▶/⏭ボタンを押し続け、聞きたいところで指をはなします。

### 一時停止する

►/‖ボタンを押します。

- 表示部に‖表示が点灯します。
- もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

### 再生を止める

■ボタンを押します。

### CDを取り出す

OPEN/EJECTボタンを押すとCDカバーが開き、開き終わるとCDが出てきます。

- CDを取り出した後、CDカバーは手で閉めてください。

## リモコンで操作する

## 表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

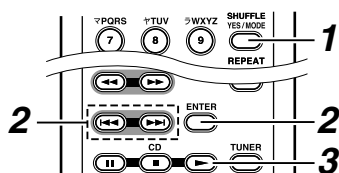
ご注意

- ディスクを再生できない場合は、8ページを参照して本機に対応しているディスクかどうか、ご確認ください。
- OPEN/EJECTボタンを押したあとは、CDをそのままの状態で長時間放置しないでください。ディスクの変形や破損の原因となります。ディスクはケースなどに入れて大切に保管してください。

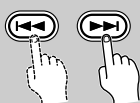
## CDのいろいろな再生

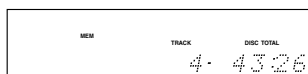
基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

### メモリー再生（リモコンのみ）

- 曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。

入力がCDで停止中

**1** YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「MEM」を表示させる

「MEM」が点灯

**2** |◀◀/▶▶|ボタンを押して曲を選び、ENTERボタンを押して確定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

数字ボタンで曲を選ぶこともできます。（☞33ページ）

**間違って予約した曲を取り消すには**

MENU/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後に入力したものから取り消されていきます。

**！ヒント**

予約時間の合計が以下の時間を超えると合計時間表示が不可能になりますが、再生に支障はありません。
99分59秒を超えると「--:--」となり26曲以上は予約できません。
「Memory Full」と表示されます。

**3** CDの▶ボタンを押す

メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

**予約した曲のなかで選曲する**

再生中に|◀◀/▶▶|ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

**予約した内容を確認するには**

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

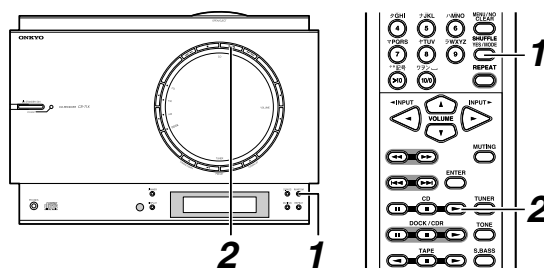
**予約した曲を取り消すには**

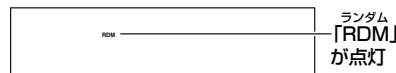
- メモリー再生モードの停止中に、MENU/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

**解除するには** ☞「通常再生に戻す」35ページ

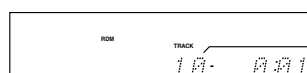
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

### ランダム再生

- 曲順をランダムに並べかえて再生します。

入力がCDで停止中

**1** 本体のRANDOMボタンまたはリモコンのYES/MODEボタンを（くり返し）押して、「RDM」を表示させる

「RDM」が点灯

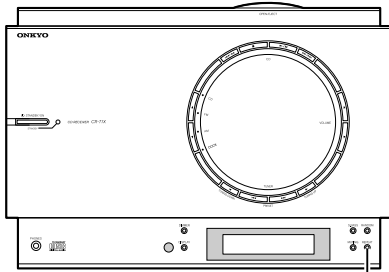
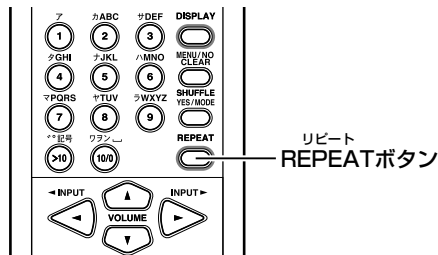
**2** 本体の▶/❚❚ボタンまたはリモコンのCDの▶ボタンを押す

再生が始まります。

再生中の曲番

**解除するには** ☞「通常再生に戻す」35ページ

- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

## リピート/1TR リピート再生

- リピート再生はCDをくり返し再生します。
- 1TRリピート再生はCDの中の1曲をくり返し再生します。
- リピート再生はメモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TRリピート再生は通常再生のみ組み合わせて使うことができます。

REPEATボタン

REPEATボタン

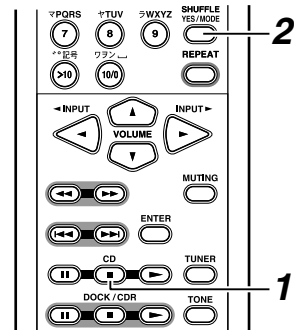
**本体またはリモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる**

「REPEAT」または
「REPEAT 1」が点灯

リピートまたは1TR リピート再生モードになります。

### リピート、1TR リピート再生を取り消す

**本体またはリモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする**

## 通常再生に戻す（リモコンのみ）

### メモリー、ランダム再生を取り消す

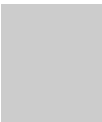
**1**

**CDの■ボタンを押して再生を止める**

**2**

**YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「NORMAL」を点灯させる**

「NORMAL」が点灯

ランダム再生の場合は、本体のRANDOMボタンを押しても通常再生に戻ります。

# iPodを再生する（リモートインタラクティブドックを使う）

## RIドックを準備する

ACアダプターを接続する前に19ページの接続をしておいてください。

**1**

### RIドックに付属のRIドック用ACアダプターを接続する

**2**

### ACアダプターを電源コンセントに接続する

**3**

### iPodをRIドックにセットする

iPodのドックコネクタポートをRIドックのiPodコネクタ部にしっかり差し込んでください。

**iPodはケースをはずしてください**

**4**

### iPodアダプターをお使いのiPodに合わせて調節する

iPodによってはiPodアダプターとiPod背面との間にすき間ができますので、iPodアダプターを回して調節し、すき間をなくしてください。左に回すとiPodアダプターを手前に、右に回すと奥に調節することができます。

**ご注意**

- iPodをケースなどに入れている場合は、完全に接続できず音が出ない、リモコンで操作ができないなどの問題が起きることがあります。iPodはケースをはずしてから本機に接続してください。
- iPodを抜き差しするときは、ねじったりしてコネクタ部を傷つけないようにしてください。また、使用中にiPodを前に倒したりすると、コネクタ部を破損する原因となりますので、ご注意ください。
- FMトランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となる場合があります。

**ACアダプターのご注意**

- 家庭用電源コンセントにACアダプターを差し込んだ状態でDS-A1XからACアダプターを抜くと、感電する可能性があります。ACアダプターを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。
- 本機に付属のRIドック用ACアダプターは、DS-A1X専用です。他の機器に接続して使わないでください。また、DS-A1Xに他機のACアダプターを接続するとDS-A1Xの故障の原因となりますので、必ず付属のACアダプターをお使いください。

## iPodを再生する

**1**

### iPodをRIドックにセットする

**2**

### リモコンのDOCK/CDR▶ボタンを押す

入力が「DOCK」に切り換わり、iPodが再生されます。

**音量を調節する**

音量は本機またはリモコンのVOLUME▲/▼ボタンで調節してください。iPod側で調節しても音量は変わりません。iPod本体にヘッドホンを接続してお楽しみいただくときは、誤って音量が大きくなりすぎていないか、iPod本体の表示で確認してからご使用ください。

## 本機によるiPodの連動動作

以下のようなシステム動作ができます。

**システムオン/オフ（スタンバイ）動作**

本機の電源をオンにすると連動してiPodの電源がオンになります。本機をスタンバイ状態にすると連動してiPodをスタンバイ状態にします。

**タイマープレイ/オフ（スタンバイ）動作**

本機のタイマーPlayが働くことにより、連動してiPodの電源がオンになりiPodの再生が始まります。

本機のSleepタイマーが働くときや、タイマーPlayの終了時刻になったとき、連動してiPodをスタンバイ状態にします。

**オートパワーオン機能**

本機がスタンバイ状態のときにDOCK/CDR▶ボタンを押すと本機の電源がオンになり、入力が「DOCK」に切り換わった後、iPodの再生が始まります。

**ダイレクトチェンジ機能**

本機が他の入力を選んでいるときに、DOCK/CDR▶ボタンを押すと入力が自動的に「DOCK」に切り換わったあとiPodの再生が始まります。

## iPodによる本機の連動動作

**iPod再生検出機能**

iPod本体で再生を始めると、次の連動動作を行います。

- 本機がスタンバイ状態のとき、電源が自動的に入り、入力が「DOCK」に自動的に切り換わります。
- 本機が他の入力を選んでいるとき、入力が「DOCK」に自動的に切り換わります。

**iPodのアラーム機能に連動**

- iPodのアラーム機能で再生が始まると、本機の電源が自動的に入り、入力が「DOCK」に切り換わります。

# iPodを再生する（リモートインタラクティブドックを使う）

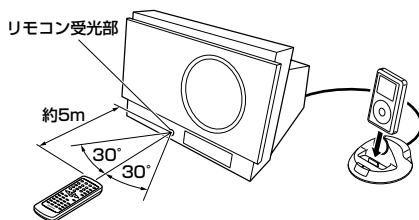
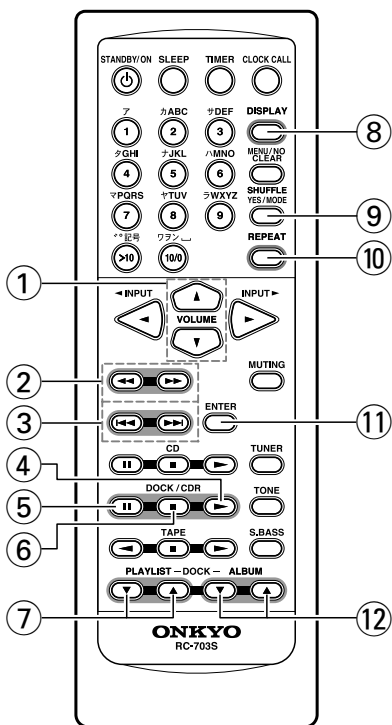
ご注意

- iPodをビデオ再生する場合は、連動しません。
- iPod本体で再生する場合やiPodのアラーム機能により再生を開始した場合、スピーカーから音が出るまで最大で5秒程度、出だしが欠けます。これが気になる場合は、本機のリモコンで再生を始めたり、本機のタイマーPlay機能を利用することなどをおすすめします。
- 他のiPod関連商品と接続してご使用の場合は、iPod再生検出機能が働かない場合があります。

## *リモコンの操作ボタン*

付属のリモコンでiPodを操作することができます。
iPodをRIドックにセットした状態で、リモコンをCDレシーバーに向けて操作してください。

**付属のリモコンで操作するには**

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの接続が必要です。（☞19ページ）

- 入力の表示名称を「DOCK」にしておいてください。お買い上げ時の設定では「DOCK」になっています。（☞39ページ）

① **VOLUME▲/▼ボタン**
本機の音量を調節します。iPod側で調節しても音量は変化しません。iPodにヘッドホンを接続してお楽しみいただくときは、iPodの音量が誤って大きくなりすぎていないか、iPod本体の表示で確認してからご使用ください。

② **◀◀/▶▶ボタン**
曲を早戻し、早送りします。
再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

③ **|◀◀/▶▶|ボタン**
再生中、一時停止中に|◀◀ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、その後押すたびに1つ前の曲になります。
▶▶|ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

④ **DOCK/CDR▶ボタン**
再生を始めます。
iPodがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

⑤ **DOCK/CDR❚❚ボタン**
再生を一時停止します。
一時停止中に押すと再生します。

⑥ **DOCK/CDR■ボタン**
再生を停止します。

⑦ **DOCK PLAYLIST▲/▼ボタン**
iPodにプレイリストがある場合、▲ボタンを押すと再生曲を次のプレイリストに、▼ボタンを押すと前のプレイリストにスキップします。

⑧ **DISPLAYボタン**
iPodのバックライトを30秒間点灯させます。

⑨ **SHUFFLE/YES/MODEボタン**
シャッフルモード（曲→アルバム→オフ）を切り換えます。
曲かアルバムかの確認は、iPodの設定画面をご覧ください。

⑩ **REPEATボタン**
リピートモード（1曲→すべて→オフ）を切り換えます。

⑪ **ENTERボタン**
iPodの操作画面で選択している内容を決定します。

⑫ **DOCK ALBUM▲/▼ボタン**
iPodの曲リストに複数のアルバムがある場合、▲ボタンを押すと再生曲を次のアルバムに、▼ボタンを押すと前のアルバムにスキップします。

# 音質を調整する

## 低音を調整する

**1**

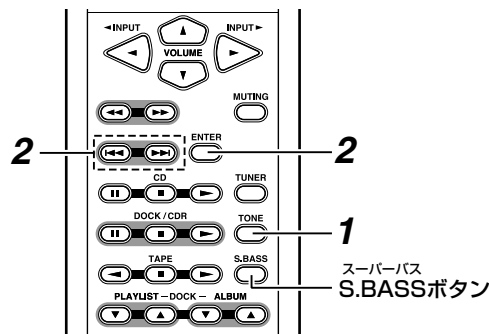
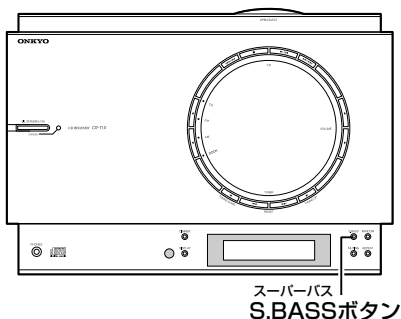
**TONE(トーン)ボタンを（くり返し）押して、「Bass(バス)」を表示させる**

**2**

**⏮/⏭ボタンを押して調整し、ENTER(エンター)ボタンを押して確定する**

- お買い上げ時の設定は「±０」ですが、－10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、TREBLE(トレブル)(高音)の調整になります。

ご注意

操作の間、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

## 高音を調整する

**1**

**TONEボタンを（くり返し）押して、「Treble(トレブル)」を表示させる**

**2**

**⏮/⏭ボタンを押して調整し、ENTERボタンを押して確定する**

- お買い上げ時の設定は「±０」ですが、－10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、元の表示に戻ります。

ご注意

操作の間、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

## 重低音を強調する

**S.BASS(スーパーバス)ボタンを押す**

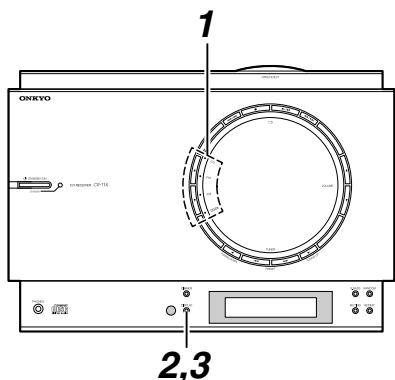
ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

S.BASS機能が働いているときは、S.BASSインジケーターが点灯します。

# 入力の表示名称を変える（TAPE/CD-R/MDを接続したとき）

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

1

2,3

本体で操作します

**1**

入力選択部の▲/▼ボタンを（くり返し）押して、「DOCK」を選ぶ

**2**

DISPLAY

DISPLAYボタンを約3秒間押し続ける

**3**

DISPLAY

DISPLAYボタンを押して、名称を選ぶ

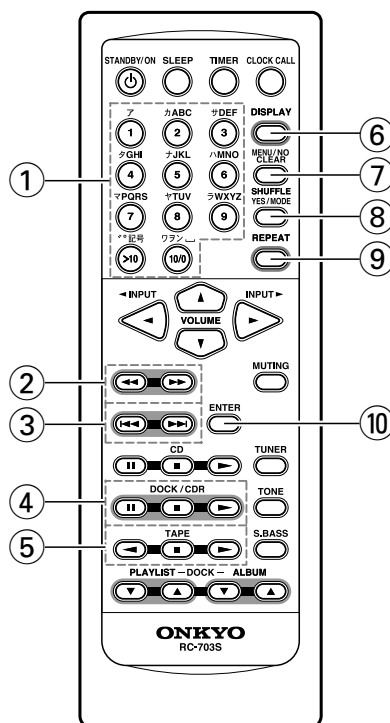
押すたびに次のように切り換わります。

DOCK → TAPE → CD-R → MD

2秒後、元の表示に戻ります。

## リモコンの操作ボタンについて

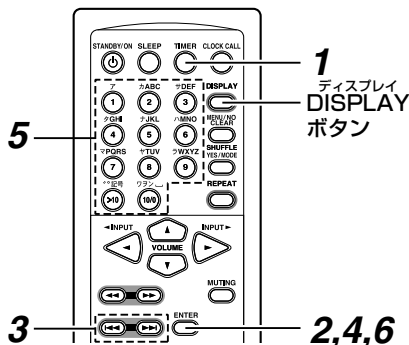
接続した機器に合わせて入力の表示名称を変えることによって、使用できるリモコンのボタンは右項のとおりです。

- 機器の接続については、19〜21ページをご覧ください。
- それぞれのボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 空欄はボタンを押しても動作しません。

例：⑧のSHUFFLE/YES/MODEボタンの場合

- DOCK/TAPE端子にカセットテープデッキを接続して入力名称を「TAPE」にしたときは、DOLBY NRボタンとして働きます。
- DOCK/TAPE端子にCDレコーダーを接続して入力名称を「CD-R」にしたときは、MODEボタンとして働きます。

| | 接続端子 | DOCK/TAPE | |
|---|---|---|---|
| | 入力名称 / リモコンのボタン名 | TAPE | CD-R/MD |
| ① | 1〜9 | | 1〜9 |
| | 10/0 | | 10/0 |
| | >10 | | >10 |
| ② | ◀◀/▶▶ | | ◀◀/▶▶ |
| ③ | I◀◀/▶▶I | ◀◀/▶▶ | I◀◀/▶▶I |
| ④ | DOCK/CDR ▶ | | ▶ |
| | DOCK/CDR ■ | | ■ |
| | DOCK/CDR II | | II |
| ⑤ | TAPE ▶ | ▶ | |
| | TAPE ■ | ■ | |
| | TAPE ◀ | ◀ | |
| ⑥ | DISPLAY | | DISPLAY |
| ⑦ | MENU/NO/CLEAR | | CLEAR |
| ⑧ | SHUFFLE/YES/MODE | DOLBY NR | MODE |
| ⑨ | REPEAT | REV MODE | REPEAT |
| ⑩ | ENTER | | ENTER |

# 曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示で説明しています。）

リモコンのみの操作です。

**1**

TIMER

**TIMERボタンを(くり返し)押して、「Clock」を表示させる**

Clock

**2**

**ENTERボタンを押す**

SUN　0:00

曜日入力に入ります。

**3**

**|◀◀/▶▶|ボタンを押して、曜日を選ぶ**

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |

**4**

ENTER

**ENTERボタンを押して、曜日を確定する**

THU　0:00

時間入力に入ります。

**5**

**数字ボタンを押して、時刻を合わせる**

数字ボタンで4桁（時、分）をつづけて入力してください。

THU　19:03

12時間（am/pm）表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

**6**

**時報に合わせてENTERボタンを押す**

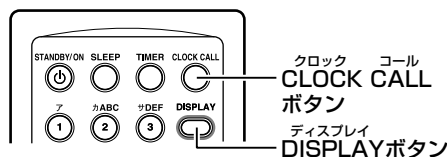
THU　19:03

時計が始動し、秒を示すドットが点滅を始めます。

**時計合わせを中断するときは**

MENU/NO/CLEARボタンを押します。

## 曜日、時刻を表示させる

リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

## 12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

## STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。
時刻のみが表示されます。

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

# タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

## タイマー予約について

### タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

### タイマーの選択

- タイマーPlay（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーRec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマーRecは本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製MDレコーダーやカセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。(☞39ページ)

### 再生機器の設定

FM、AM、 CDまたは本機に接続しているオンキヨー製RIドックやMDレコーダーなどの外部機器が選択できます。(表示名称を正しく設定する必要があります。☞39ページ)
タイマーRec（録音）は、FMまたはAMから選択して録音できます。

### 曜日の設定

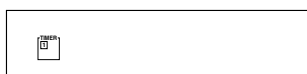
タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。

また、Everyタイマーには「Everyday（毎日)」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

| 例） | | |
|---|---|---|
| | Timer 1 | 毎朝の目覚ましがわりに<br>タイマーPlay(再生)—Every—Everyday(毎日)—7:00〜7:30 |
| | Timer 2 | 毎週のラジオ放送を録音<br>タイマーRec(録音)—Every—MON(月曜日)〜SAT(土曜日)—15:10〜15:30 |
| | Timer 3 | 今週の日曜だけラジオ放送を録音<br>タイマーRec(録音)—Once—SUN(日曜日)—10:00〜12:00 |

ご注意

- タイマー再生中や録音中に、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

### タイマー表示について

TIMER

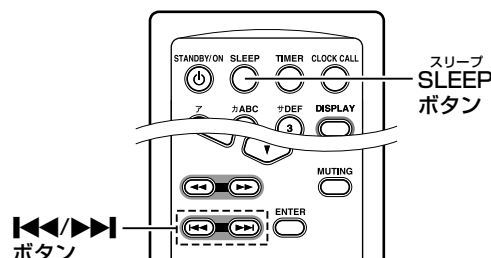
タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。□が点灯している数字はタイマーRecが設定されています。

### 同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が小さい方が優先されます。

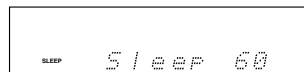
Timer 1　　9：00 – 10：00
Timer 2　　8：00 – 10：00
　　↑ 優先(タイマー開始時刻が小さい方)
Timer 3　　12：00 – 13：00
　　↑ 優先（タイマー番号が小さい方）
Timer 4　　12：00 – 12：30

## Sleepタイマーを使う

設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

SLEEP

### SLEEPボタンを押す

SLEEP表示が点灯し、「Sleep 90」と表示されます。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。60と設定すると、60分後に電源が切れます。

SLEEP　Sleep 60

1分単位で時間を設定したいときは、⏮/⏭/ボタンを押します。1〜99分の範囲で設定することができます。設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

### 残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

### Sleepタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

！ヒント

CDダビング機能のある機器と接続しているとき、「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用して、寝る前や外出前にCDダビングを始めることができます。

## タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞25、26ページ）

ご注意

- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
- 設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

リモコンのみの操作です

### 1

<タイマー番号の選択>

Timer 1

**TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ**

Timer 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTERボタンを押します。

「Clock」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。（☞40ページ）

### 2

<タイマー種類の選択>

または

Rec

**⏮/⏭ボタンを押して、タイマーPlay（再生）またはタイマーRec（録音）を選ぶ**

タイマーの種類が表示されたらENTERボタンを押します。

タイマーRecは外部入力の表示名称を「TAPE」または「MD」にしているときに選ぶことができます。

### 3

<再生機器の選択>

F M

**⏮/⏭ボタンを押して、再生する機器を選ぶ**

再生する機器が表示されたらENTERボタンを押します。タイマーRec(録音)のときは、FMまたはAMから選べます。

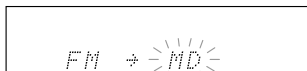
**FMまたはAMを選んだ場合**

**⏮/⏭ボタンを押して、希望のチャンネルを選ぶ**

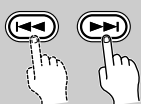
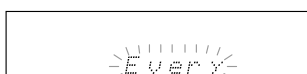
チャンネルが表示されたらENTERボタンを押します。

FM 87.50MHz 3

## 4

**＜録音機器の確認＞（タイマーRec（レック）設定時のみ）**

### 録音する機器が表示されるので、確認してENTER（エンター）ボタンを押す

FMまたはAMはアナログでしか録音できませんので、MDレコーダーに録音する場合は、必ずオーディオ用ピンコードで接続し、MDレコーダーの入力をANALOG（アナログ）に切り換えてください。

## 5

**＜曜日の設定＞**

### ⏮/⏭ボタンを押して、“Once（ワンス）”または“Every（エブリー）”を選ぶ

“Once”を選ぶと1度だけ、“Every”を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらENTERボタンを押します。

**“Once”の場合：設定した曜日に１度だけ働きます。**

SUN

### ⏮/⏭ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

| | | | |
|---|---|---|---|
| MON | （月曜日） | FRI | （金曜日） |
| TUE | （火曜日） | SAT | （土曜日） |
| WED | （水曜日） | SUN | （日曜日） |
| THU | （木曜日） | | |

**“Every”の場合：設定した曜日に毎週働きます。**

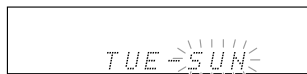
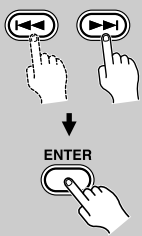
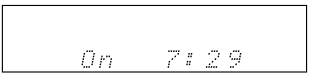
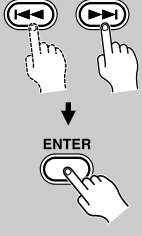
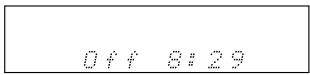
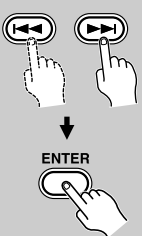
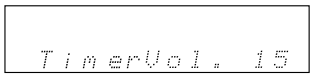
### ⏮/⏭ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ MON ⇔ SUN / FRI ⇔ SAT ⇕
SUN（日） ⇔ Days Set［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday［毎日］ ⇔ SAT（土）

**「Days（デイズ） Set（セット）」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。**

MON－SAT

TUE－SUN

### ① ⏮/⏭ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

### ② ⏮/⏭ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

### 6

<開始時刻の設定>

On　7:29

**I◀◀/▶▶Iボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する**

リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。

- am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

！ヒント

開始時刻（On）を変更すると終了時刻（Off）は自動的に1時間後の表示になります。

### 7

<終了時刻の設定>

Off　8:29

**I◀◀/▶▶Iボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する**

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

### 8

<音量の設定>

TimerVol. 15

**I◀◀/▶▶Iボタンを押して、タイマー再生時の音量を設定する**

音量は、Mut（タイマーRecのみ）、Lst、1、2、3…と設定できます。
お買い上げ時の設定は、タイマーPlayは15、タイマーRecはMutです。Lst、Mutの動作は次の通りです。

Lst：最後に聞いた音量（スタンバイ状態にした時の音量）になります。

Mut：MUTING機能が働いて音が消えます。MUTINGボタンを押して解除すればスタンバイ状態にする前に聞いていた音量になります。

設定する音量を表示させたら、ENTERボタンを押します。

### 9

<スタンバイにする>

**電源をスタンバイ状態にする**

STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

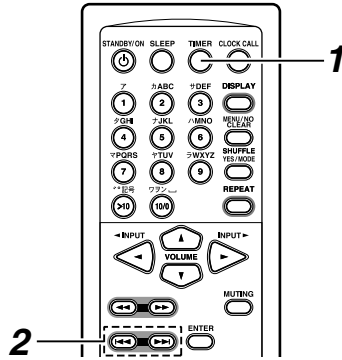
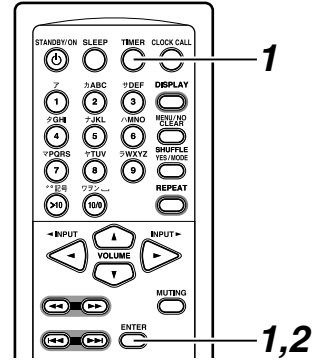
- CDのタイマー再生で、メモリー再生、ランダム再生などを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- お買い上げ時の設定では、タイマーRec（録音）中はMUTING機能が働いて音声が消えます。音声を聞くには、MUTINGボタンを押してください。または、タイマーRecの音量設定で適当な音量にしてください。

**タイマー予約をやり直したいときは…**

MENU/NO/CLEARボタンを押し、最初から設定してください。

## タイマーのOn（実行）/Off（取消）を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

**1**

**TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる**

Timer 1

タイマー番号が点灯していたら、オン(実行）に設定されている状態です。

**2**

**⏮/⏭ボタンを押して、On(実行)/Off(取消)を切り換える**

または

Timer Off

切り換えると約2秒後にもとの表示に戻ります。

## タイマー設定の内容を確認するには

**1**

**TIMERボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTERボタンを押す**

Timer 1

**2**

**ENTERボタンを (くり返し)押して、次の内容を確認する**

Rec

押すたびに次の設定内容を確認できます。

！ヒント

確認中⏮/⏭ボタンを押して、設定内容を変更することもできます。

タイマー設定がOffになっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がOnになります。

すべての項目を確認し、設定に変更がないともとの表示に戻ります。
確認を途中でやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

# 困ったときは

**まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。**

## 電源に関して

### 電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。また、電源コードのもう一方の側も本機のAC INLETからはずれていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

### 電源が途中できれる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**(41ページ)**
- タイマー再生**(42〜44ページ)**は終了時刻が来るとスタンバイ状態になります。
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いている可能性があります。電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。

## 音に関して

### 音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？**(16ページ)**
- ボリュームが最小になっていませんか?
- 入力ソースは正しく選択されているか確認してください。
- MUTINGインジケーターが点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。**(23ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(23ページ)**

### 音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの+/−が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。**(16ページ)**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に精密部品のディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

### 振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されておりますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。

### ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。(清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。)また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

**音質に関して**

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

## CDに関して

### 音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

### 曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

### ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。
- 別のディスクがすでに入っていないか確認してください。

### ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 結露していると思われる場合は約1時間後に操作してください。**(8ページ)**
- 「No Disc」と表示されるときは、一度電源プラグを抜いて入れ直し、スタンバイ状態でCD▶/❚❚ボタンを押してください。

### ディスクの曲順通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。**(35ページ)**

## 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDの再生

### 再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

## ＦＭ/ＡＭ放送に関して

### 放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない(FMのみ)/FM放送で“FM ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。**(17ページ)**
- アンテナの位置を変えてみてください。**(25ページ)**
- テレビやコンピューターから離してください。
- アンテナをスピーカーや他のケーブル類から離してください。
- アンテナをRIドックのACアダプターやRIドック、iPod本体から離してみてください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。**(27ページ)**
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナまたは、屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

**停電になったり、電源プラグを抜いたときは**

- メモリーは通常約3日間は保持されます。登録したラジオの放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

**ラジオの周波数を調整できない**

- 本体のTUNING UP▶/TUNING DOWN◀ボタンまたは、リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して調整してください。**(24ページ)**

## RIドックに関して

**音が出ない**

- iPodが再生していることをご確認ください。
- RIドックのiPodコネクタ部にiPod本体が正しく接続されているか確かめてください。
- コードやケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- RIドックをCDレシーバーの入力（IN）端子に接続しているかご確認ください。出力（OUT）端子には接続しないでください。
- ACアダプターがRIドック本体やコンセントから抜けていないかご確認ください。
- 一度iPodをリセットしてみてください。
- 入力が「DOCK」になっているか確認してください。

**映像が出ない**

- iPodのTV出力の設定がオンになっているか確認してください。
- テレビの入力が正しく選ばれているか確認してください。
- iPodによっては、映像出力に対応していない機種もあります。

**付属のリモコンで操作ができない**

- 第3世代iPodには対応していません。
- RIドックのiPodコネクタ部にiPod本体がしっかり接続されているか確かめてください。iPodをケースなどに入れている場合は、完全に接続できないことがありますので、必ずケースをはずして接続してください。
- iPodにAppleロゴが表示されている間は操作できません。しばらく待って、Appleロゴが消えてから操作してください。
- リモコンはCDレシーバーに向けて操作してください。
- RIケーブルだけでなく、オーディオ用ピンコードも接続してください。
- 一度iPodをリセットしてみてください。
- 入力の表示名称が「DOCK」になっているか確認してください。**(39ページ)**

## リモコンに関して

**リモコンが働かない**

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。**(9ページ)**
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

## 外部機器との接続に関して

**オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない**

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。**(19～21ページ)**
  RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器に合わせての表示名称を設定してください。**(39ページ)**

**レコードプレーヤーの音が小さい**

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

**レコードプレーヤーが再生できない**

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

## 時刻、タイマー再生・録音に関して

**タイマー再生・録音しない**

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。**(40ページ)**
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。**(44ページ)**
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。**(41ページ)** 時間をずらして設定してください。
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。**(39ページ)**
- タイマー録音するには録音機器側に録音可能なMDやカセットテープなどをセットしておく必要があります。

**スタンバイ状態で時計表示が出ない**

- スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定してください。**(40ページ)**

## その他

**電源コードをコンセントに 差し込んだとき、「RESET」と表示される**

- 長期間電源コードが抜かれていたため、メモリーの内容がリセットされ、すべてお買い上げ時の設定に戻りました。あらためて必要な設定を行ってください。

**入力が勝手にDOCKに切り換わる**

- iPodを再生したままにしていませんか？
  iPod再生検出機能により、再生曲が切り換わったときなどに本機の入力が切り換わってしまいます。DOCK以外の入力を楽しみたいときは、iPodを一時停止にしておいてください。



X-T1CRX(46-52)(SN29344548) 47 07.5.24, 0:41 PM
ブラック

# 困ったときは

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認のうえ、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのようなときは、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってからあらためて電源プラグを差し込んでください。
それでも直らない場合は、下記の「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を参照してリセットしてください。

### ■すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 本体のSTANDBY（スタンバイ）/ON（オン） ボタンを押しながら、電源コードをコンセントに差し込みます。

   表示部に「RESET（リセット）」と表示されたあと、スタンバイ状態になります。

# 主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

## CDレシーバー部

CR-T1X

■総合

**電源・電圧** AC 100V、50/60Hz
**消費電力** 39W
**待機時電力** 0.2W（時計表示なしのとき）
**最大外形寸法** 298(幅)×204(高さ)×222(奥行)mm
**質量** 3.2kg
**音声入力**
　**アナログ** 1
**音声出力**
　**アナログ** 1
　**デジタル（光）** 1
　**サブウーファープリアウト** 1
　**スピーカー** 1系統
　**ヘッドホン** 1
**クロック精度** 月差±60秒（25℃）

■アンプ部

**実用最大出力** 10W＋10W
（6Ω、40Hz〜20kHz、
全高調波歪率10%以下、2ch駆動時）
**全高調波歪率** 0.07%（1kHz 1W出力時）
0.4%（40Hz〜20kHz 1W出力時）
**ダンピングファクター** 25（6Ω）
**入力感度/インピーダンス** 200mV/50kΩ(DOCK/TAPE)
**音声出力電圧/インピーダンス**
1.0V/2.2kΩ（DOCK/TAPE OUT）
**周波数特性** 20Hz〜50kHz/±3dB（DOCK/TAPE）
**トーンコントロール最大変化量**
　**BASS** ±10dB（100Hz）
　**TREBLE** ±10dB（10kHz）
　**S.BASS1** ＋4dB（80Hz）
　**S.BASS2** ＋8dB（80Hz）
**SN比** 80dB（DOCK/TAPE, IHF-A）
**スピーカー適応インピーダンス** 6Ω〜16Ω

■チューナー部

＜FM＞
**受信範囲** 76.00MHz〜108.00MHz*
**受信感度** Stereo 17.2dBf 2.0μV（75Ω IHF）
Mono 11.2dBf 1.0μV（75Ω IHF）
**SN比** Stereo 65dB（IHF-A）
Mono 67dB（IHF-A）
**歪率** Stereo 0.5%（1kHz）
Mono 0.4%（1kHz）
**ステレオセパレーション** 35dB（1kHz）
＜AM＞
**受信範囲** 522kHz〜1629kHz
**実用感度** 30μV
**SN比** 40dB
**歪率** 0.7%（1kHz）

＊ 地上アナログテレビ放送終了後は、VHF1ch、2ch、3chの音声を聞くことはできなくなります。

■CD部

**周波数特性** 20Hz〜20kHz
**ダイナミックレンジ** 75dB
**全高調波歪率** 0.02%
**ワウ・フラッター** 測定限界以下
（±0.001% W.PEAK）

## スピーカー部

D-T1X

**形式** 2ウェイバスレフ型
**定格インピーダンス** 6Ω
**最大入力** 40W
**定格感度レベル** 80dB/W/m
**定格周波数範囲** 60Hz〜50kHz
**クロスオーバー周波数** 8kHz
**キャビネット内容積** 2.8リットル
**最大外形寸法** 133(幅)× 232(高さ)×224(奥行)mm
（サランネット、ターミナル突起部含む）
**質量** 1.1kg
**使用スピーカー**
　ウーファー 8cm A-OMFダイアフラム
　ツィーター 2cm バランスドーム型
**ターミナル** プッシュ式
**防磁設計** 有（JEITA）

## RIドック部

DS-A1X

**電源** DC IN5V（専用アダプター）
**消費電力** 0.5W
**質量** 220g
**最大外形寸法** 112(幅)×60(高さ)×112(奥行)mm
**端子** 映像出力 1
アナログ音声出力 1
RI端子 1

# 修理について

## ■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## ■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　X-T1CRX
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

## ■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## ■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

## ■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

## ■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　(　　)
メモ：

ONKYO®
オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　9：30～17：30
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）

G0705-1

SN 29344548